

森の学び舎たより

6月

森の保育園 共同運営
2026年6月1日

気温が高くなり、半袖で過ごす日が多くなってきました！1年生は新しい環境に少しずつ慣れ始め、2年生は下級生ができ、3年生以上は最上級生となり、はやくも2カ月がたちました。徐々に疲れが始まる頃かと思います。楽しい夏を迎えられるように、体調管理には気を付けていきましょう。

森の学び舎は今年4年目になります。森の学び舎では「明日も行きたい！」というテーマを掲げています。これは、『子ども達が楽しく過ごせる』『保護者も安心して預けられる』『指導員も楽しい！』という関わる人がみんなハッピーになるという考えから来ています。そもそも学童保育は、共働き家庭の増加に伴い、放課後の児童の安全な居場所として自然発生的に始まっています。その後1998年の児童福祉法改正において法的に「放課後児童クラブ」として位置づけられました。その後は、小学生が放課後に安全で安心して過ごせる居場所を提供するだけでなく、遊びや学習を通して健全な育成を図ることを目的として制度の拡充が少しずつ図られています。その中でも、子ども達の「健全な育成」を大切にしていきたいという願いが大切なことに変わりありません。子ども達が本当の意味で楽しいと感じる場面は、直接的な体験や、自ら意思をもった行動、そして多様な他者との関わりの中で生まれ、スタッフ全員が森の学び舎の子ども達の『楽しい』と思ってもらえる生活や活動をこれからも実施していきたいと考えています。

引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

外遊びについて

蒸し暑い日が多くなります。涼しい日はできるだけ戸外で遊びたいと思いますので、登校時に帽子・大きめの水筒を忘れず持たせてあげてください。

※熱中症指数が28度を超えましたら外遊びは中止となりますので、ご理解下さい。

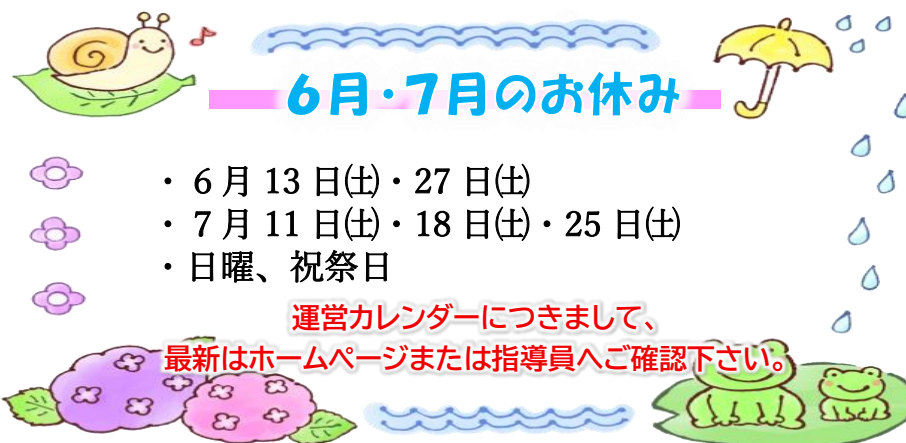
また、雷注意報が発出した場合は外遊びは中止とします。

月1回学童クラブ便り「森の学び舎たより」を配信いたします。その中ではクラブの考え方、連絡事項などを記載しますので、必ず内容をご確認ください。

『食わず嫌い』ってどうして起こるの？

「好きな食べ物は何か？」子ども達と接しているとよく聞かれる質問です。私は『絵本』と答えるようにしています。反対に「嫌いな食べ物は？」の質問は大人になると意外と返答に困りますよね。最近、クラブのおやつ時間に子どもが初めて見たものを手に取らない様子が見られます。普段は食べるクッキーでも違う銘柄や味のものを口にしない子がいます。いわゆる、食わず嫌いです。この食わず嫌いは、子ども本人の問題よりも環境の影響が大きいと言われており、具体的には『食べてみたら嫌だった』経験が食わず嫌いをしてしまう原因です。例えば、その子にとって好きなヨーグルトがあったとします。ある時、『いつものヨーグルト』が用意できず、別のヨーグルトを用意したとします。子どもにとっては見た目でしか判断できないため「いつもの美味しいヨーグルト」という食べる前のイメージと、食べてみたときの「いつもと違う味だ！（しかも美味しくなかった）」という感覚の違いから、「いつもと違うものは食べたくない」と思うことがあります。ひどい時には、提供側の意図に関わらず、子どもは「騙された」と思うてしまうこともあります。食わず嫌いをなくす方法のひとつとして、「苦手な可能性があることを予め伝える」ことが挙げられます。例えば「おいしいはずだけど、初めてだからどうかなあ」等と繰り返し伝えることで、子どもが安心して食べられることに繋がり、「意外と美味しかった！」とプラスの経験を生み、食事へ興味を広げていくと考えられます。森の学び舎でも実践していますので、ぜひご家庭でもやってみてください。今回、参考および引用した『きゅうけん』のPDF資料も添付していますので、ぜひお読みください。

参考文献：『きゅうけん』HP <https://kyushoku.kyo-shi.co.jp/>



6月・7月のお休み

- ・ 6月13日(土)・27日(土)
- ・ 7月11日(土)・18日(土)・25日(土)
- ・ 日曜、祝祭日

運営カレンダーにつきまして、
最新はホームページまたは指導員へご確認ください。